

## 平成30年度全国学力・学習状況調査の結果の公表について

今年4月17日に6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の本校の結果について、次のように公表します。

**【国語】** 国語科の学習領域は、次の4つからなります。  
①話すこと・聞くこと ②書くこと ③読むこと  
④伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項（漢字やひらがなローマ字等）

本校児童は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」について得意であると言えます。これは、日々のスピーチの取組や授業でのまとめを子どもたち自身がさまざまな手段で表現すること、放課後学習の継続が効果を上げていると言えます。

一方「読むこと」を苦手としている児童もいます。特に「目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むこと」に課題が見られました。自分の意見をもちながら文章や資料を読んだり、必要な情報を取り出しながら説明的な文章や図、グラフを読みとったりする活動に取り組んでいきます。

**【算数】** 算数科の学習領域は、次の4つからなります。  
①数と計算 ②量と測定 ③図形 ④数量関係

本校児童は、どの学習領域においても、多くの児童がしっかり理解しています。これは、日常の授業で、児童個々のつまずきを明確にしなが、個に応じた学習指導をしている成果と考えます。また、昨年度の課題であった「主として活用」に関する調査においても改善が見られました。今後も、身に付けている知識や技能を活用して、問題を解決することや筋道立てて考える過程を重視した授業の充実に努めていきます。

**【理科】** 理科の学習領域は、次の4つからなります。  
①物質 ②エネルギー ③生命 ④地球

本校児童は、どの学習領域においても、多くの児童がたいへんよく理解しています。話し合い活動や自分の考えを記述する活動を重視するとともに、理科の学習で身に付けた見方や考え方について、さらに発展的な事象を紹介したり、生活の中でどのように生かされているかを考えさせたりする指導に努めていきます。

### 【児童質問紙調査】

「朝食を毎日食べていますか」「家で、学校の宿題をしていますか」「家の人と学校での出来事について話しますか」という設問には、ほとんどの児童が「はい」と答えています。各家庭の協力もあり、基本的な生活習慣がしっかり身に付き、良好な親子関係が築けていると言えます。一方、テレビやインターネットのニュースは見ても、新聞は読まないと答える児童が非常に多く、放課後の過ごし方では、「家でテレビやDVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている」と答えた児童の割合も高くなっています。今後は、家庭との連携を深めながら、適切なメディアとのかかわり方を身に付け、日常生活のさらなる充実に取り組んでいきます。

今回の全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、本校としては、これからも個に応じた指導と学習したことをまとめたり、学習の過程を振り返ったりする指導を徹底していきます。また、ご家庭でも家庭学習の充実に今まで同様に継続し、努力したことを認め・励まし、子どものやる気を喚起させるようご協力をお願いいたします。

以上、何か御不明な点があれば、教頭〔安藤〕まで御連絡ください。（57-2201）